

- S41. 7. 岩手国体正式決定する。
- 7.2～3 第18回高体連 (一関市営プール) ①専大北上 82点 ②岩高 64点
- 7.16～17 県選手権大会 (一関市営プール)
- 7.23～24 第19回県中体連 (宮古高プール) ②岩中 49点
 200平 ① 茂庭 2'42"9 東北中学新
 100平 ① " 1'16"5 "
- 7.29～30 第21回東北大会 (福島市)
- 8.10～ 第34回インターハイ (青森市)
- 8.27～28 第18回県体 (岩高プール) ①岩高 (10連勝)
9. 4 第2回県中学校学年別 (石鳥谷) 3年の部 ①岩中 52点
 100平 ① 茂庭 1'15"8 東北中学新
- 9.18～21 第21回国体 (別府市)
 照井、若柳、中村秋、吉田 出場

最後に練習、エピソードについて記する。前に述べたように、水泳部にナイターができることになったことで夜泳ぐのはなかなかスリルがあり始めのうちにはまどったが練習を重ねているうちに慣れて来た。もう一つは部員が少ないことで、我校全部の部にいえる事で部員が多くなることは自然にどの部も強くなり我校発展のためだ!

「後輩諸君スポーツをやりたまえ」

末筆ながら一年間、水泳部のためいろいろ御指導下さった顧問の先生、ならびに、先輩各位に敬意を表し、後輩諸君の活躍を期待し筆を置く。(照井記)

- S42. 7.8～9 第19回高体連 (金田一温泉プール) ①岩高 93点
 200平 ① 茂庭 2'44"5 県新
 100平 ① " 1'14"2 東北高新
 100背 ① 吉田 1'13"4 県高新
- 7.22～23 県選手権大会 (一関市)
 200平 ① 茂庭 2'45"0 県新
 100平 ① " 1'15"4 東北高新
 100背 ① 吉田 1'14"0 県高新
- 7.29～30 第22回東北大会 (仙台西公園プール)
 400メドレー ① 岩高 (吉田、茂庭、遠藤、清水) 4'52"2
 100平 ① 茂庭 1'15"5 東北高新
 200平 ① "
 総合 ①岩高 36点 (初優勝)
- 8.6～ 第14回東北中学校大会 (金田一温泉プール)
- 8.18～21 第35回インターハイ (福井市)
 200平 茂庭 決勝進出
- 8.26～27 第19回県体 (岩高プール) ①岩高 61点
 200平 ① 茂庭 2'35"0 東北新
 100背 吉田 1'12"0 県高新 (メドレー)
 200背 吉田 2'35"7 "
9. 3 第3回県中学校学年別 (石鳥谷)
- 9.9～10 第5回県高校新人大会 (志戸平温泉プール) ①岩高 54点
 200平 ① 茂庭 2'37"4 東北新
- 9.17～20 第22回国体 (川口市)
 遠藤、吉田、中村秋、茂庭、清水 出場

- S 43. 3. 31 第18回冬季東北大会 (釜石室内プール)
 7.13~14 第20回高体連 (一関市営プール) ①岩高 89点
 400 リレー ① 岩高 4'27"2 県新 400 個メ ① 中村秋 5'56"6 県新
 100 平 ① 茂庭 1'14"2 東北新
 7.20~21 第21回県中体連 (金田一温泉プール)
 7. 28 第19回全国勤労者大会県予選会 (盛商プール)
 30才以上 50自 ① 吉田(重) 28"9
 7.29~30 県選手権大会 (盛商プール)
 8. 3~4 第23回東北大会 (山形県上山市)
 200 平 ① 茂庭 100 平 ① 茂庭 400 個メ ② 中村秋 400 自 ① ;
 8.10~11 第20回県体 (釜石) ①岩高 36点
 400 個メ ① 中村秋 5'55"2 県新
 8. 25 第8回市民水泳記録会 (下の橋プール)
 200 平 ① 茂庭 2'39"2 県新
 9. 4~7 第23回国体 (福井)
 中村、茂庭、清水、千葉 出場
 茂庭 200 平予選 1 位通過、決勝 4 位に入賞
 9.14~15 第6回県高校新人大会 ①岩高 53点

私は六年間水泳部員としてやって来て、クラブ活動というものについて次のように考えている。学問のみに
 念ずるのも良いが、クラブ活動には学問によって得ることができない何かがある。スポーツの世界にしかない
 何かがある。それは激しい練習によって養われる忍耐力であり、そこから生まれる友情を基調とする協調性、い
 ゆるチームワークなのです。これほど美しいものがスポーツ以外の生活で見いだせるだろうか。そしてそれは
 後社会に雄飛する我々にとって欠くべからるものであり、かならずや大きな役割を果すものであることを信
 じて疑わない。

最後に色々御指導下さった草島先生、諸先生、中村監督、諸先輩に紙上を借りて厚く御礼申し上げます。

(三河記)

- S 44. 7.12~13 第21回高体連 (一関市営プール) ①盛商 80点 ②岩高 71点
 7.19~20 県選手権大会 (盛商プール)
 中沢(岩銀) 400 自 ① 4'34"6 県新
 " (") 1500 自 ① 18'29"4 "
 " (") 200 個メ ① 2'34"3 "
 " (") 200 自 ① 2'08"5 東北新
 7.7.26~27 第22回県中体連 (釜石市営プール)
 8. 2~3 第24回東北大会 (釜石市営プール) ④岩高 27点
 1500 自 ② 清水 400 自 ③ 清水 200 平 ① 茂庭 100 平 ① 茂
 一般 400 自、100 自 中沢 ①
 8. 10 第21回市民水泳大会 (下小路プール)
 一般 50自 ① 吉田重治 28"8 大会新
 8. 17 市民記録会 (河南中プール)
 8.16~ 第37回インターハイ (前橋市)
 100 平 ⑥ 茂庭 1'14"2 (本県初の入賞者)
 8.23~24 第21回県体 (釜石市営プール) ①盛商 44点 ②岩高 40点
 400 個メ ① 茂庭 5'39"2 県新
 一般 400 自 ① 中沢 4'37"8 東北新
 9. 7~10 第24回国体 (長崎市)
 茂庭、清水、千葉、OB中沢、吉田(重)、川辺 出場
 200 平 ⑦ 茂庭 2'43"2 400 自 ③ 中沢 4'33"1 県新
 9.14~15 第7回県高校新人大会 (志戸平温泉プール) ②岩高 27点

- 1. 11 第20回冬季東北大会 (釜石室内プール)
- 7.11~12 第22回県体兼高体連 (釜石市) ①岩高 65点
- 7.25~26 第23回県中体連 (北上中プール)
- 7.31~8. 第25回東北大会 (大曲市) ①盛商
- 8.8~9 県選手権大会 (盛商プール)
- 8.22~ 第38回インターハイ (和歌山)
- 8. 29 第6回市内小学校大会 (厨川小プール)
- 8. 30 第6回県中学校学年別 (石鳥谷)
- 9. 第25回国体 (釜石市)

高校男子監督 中村 轟
 高校女子監督 小笹勝二
 選手 一般 中沢正博
 青年 茂庭秀夫
 高校 武蔵恵助
 工藤好勝
 柳原宏行
 佐藤和彦
 千葉定幸

競技役員 多数

一般 400自 ⑥ 中沢 4'36"9

青年 200平 ③ 茂庭 2'46"8

- 9.19~20 第8回県高校新人大会 (志戸平)

①岩高 70点



郷土の栄光のために数々と戦うと力強く選手監督する中沢正博選手

我々水泳部は、数々の大会の活躍のほかにも県内の、多数の小中学校のプール開きに招待され模範泳法を披露したり校内では当然のこととはい、校舎内の掃除やマンホールの掃除、垣根のくい打ちなど練習の合間をみつけ色々な小さな事でも進んで行ない、クラブ活動ならではの経験をしている。

私はクラブ活動をしていなかったら今ごろ何をしていたであろう？。勉強ばかりして青い顔をしていたであろうか？。遊んでばかり……。いずれにしても未熟者になっていたように思える。私は水泳をしたおかげで、学問だけしている者には絶対得られない色々なことを身につけ、色々なことを知った。言葉で表わそうとしても言えないくらいだ。中でも、はっきりしているのは、体力がついたこと、精神力、それから勉強こそはしなかったが実行力、敏感な行動、態度、その他色々なことが身についたと思う。

後輩諸君、大いに運動して自分のためにも学校の名誉のためにも活発に活動してみてはどうだ。

最後に、顧問の草島先生、監督の中村轟先輩に深く感謝しこれで終わりとします。 (千葉記)

- 1. 10 第21回冬季東北大会 (釜石室内プール)
- 7.3~4 第23回高体連 (金田一温泉プール) ①岩高 112点
- 7.24~25 第24回県中体連 (釜石市営プール)
- 7.31~8.1 県選手権大会 (北上市民プール)
200個メ ① 野呂 2'38"9 県高新
- 8.7~8 第23回県体 (釜石市営プール) ①岩高 31点
- 9.5~ 第26回国体 (和歌山市)
工藤、柳原、佐藤、武蔵、佐々木、野呂 出場
一般、中沢出場
- 9.11~12 第9回県高校新人大会 (志戸平温泉プール) ①岩高 61点
- 10. 岩手大学プール完成

私はクラブ活動というものをこのように考えている。学問のみに専念するのもよいが、一度きりしかない「青春」の時期にさいし、学問以外に学びとらなければならない何かがスポーツにあると思う。それはこのきつい練

習などによってやしなわれる忍耐力・精神力であると思う。そこから生まれ得る友情、チームワークなのです。これほど美しくすばらしいものがスポーツ以外で学びとることは出来ないと思う。また社会に旅立つ時にさいしこのクラブ活動でやしなわれた忍耐力・精神力が大きな役割を果たすにちがいない。最後に我々部員を熱心に御指導御援助してくださいました草島先生をはじめ諸先生、中村轟先輩各位に感謝するとともに、今後とも後輩諸君のため御指導くださることをお願い申し上げます。（工藤記）

- S47.** 1. 16 第22回冬季東北大会（釜石市営プール）
 7.1～2 第24回高体連（久慈市民プール） ②岩高 51点
 200個メ ①野呂 2'36"4 県高新
 7.28～8.1 ミュンヘン代表合宿（久慈市民プール）
 7.29～30 第25回県中体連（金田一温泉プール）
 8.1～ インターハイ（山形）
 水球の部 福岡高 ⑥
 8.12～13 県選手権大会（岩大プール）
 400個メ ①野呂 5'36"2 県新
 " ②佐藤和 5'37"8 県新
 200個メ ①野呂 2'37"0 県高新
 8.26～27 第24回県体（釜石市営プール） ②岩高 29点
 9.17～20 第27回国体（鹿児島）
 武蔵、北田、野呂 出場

- S48.** 1. 14 第23回冬季東北大会（釜石市営プール）
 4. 岩根和夫理事長より村井良和理事長となる。
 5. 沖縄特別国体
 7.7～8 第25回高体連（花泉町民プール）
 200個メ ①野呂 ②中村 ③佐々木
 7. 22 市民大会（黒石野中プール）
 7.28～29 第26回県中体連（岩大プール）
 7.31～8.1 第28回東北大会（仙台西公園プール）
 200個メ ②野呂 400個メ ③野呂
 8.11～12 県選手権大会（北上市民プール）
 200個メ ①野呂 2'33"2 県高新
 8.25～26 第25回県体（釜石市営プール）
 200背 ②野呂 2'36"6 県高新
 9.9～12 第28回国体（千葉市）
 野呂 400個メ 5'29"1 県高新

水泳とは泳ぐことなのです。その苦しむたるや言葉では言い表わせないほどなのであります。しかし我々がこの苦しみに耐えることができたのは、全国制覇という大なる希望があったからなのです。しかし全国の壁はあまりに厚く私達はむなしく敗北の涙をのみました。ですが我々はこれしきのことでまけてはいません。これからも日夜練習に精を出し身につけた根性は、たとえ日本が沈没しても太平洋のかなたアメリカか、はたまたイギリスにまで泳ぎつき、その根性を示すことでしょう。（野呂記）

- S49.** 7.6～7 第26回高体連（岩大プール）
 7.20～21 県選手権大会（岩手町民プール）
 7.27～28 第27回県中体連（北上市民プール）
 8.10～11 第6回東北中学校大会（北上市民プール）
 8.17～18 第26回県体（釜石市営プール）
 9.8～11 第29回国体（水戸市）

- S50.** 1. 12 第25回冬季東北大会 (遠野市民プール)
 7.5～6 第27回高体連 (釜石市営プール)
 7. 10 盛岡勤労青少年プール完成
 7.26～27 第22回県中体連 (釜石市営プール)
 8.2～4 第30回東北大会 (釜石市営プール)
 8.9～10 県選手権大会 (一関市民プール) 200 バタ ② 吉田
 8.16～17 第27回県体 (雫石町民プール) 200 バタ ① 吉田
 9.14～17 第30回国体 (四日市市) 吉田出場
 11. 24 県水連50周年記念式典 (大清水多賀)

- S51.** 4. 10 盛岡市立屋内プール完成
 6.30～7.1 高体連 (勤労者プール)
 7.7～8 県選手権大会 (釜石市民プール)
 100 バタ ③ 吉田 1'08"8 200 バタ ① 吉田 2'34"9
 7.24～25 県中体連 (金田一温泉プール)
 東北大会 (吉田 出場
 8. 15 岩高50周年記念式典プール、祝賀会 (大清水多賀)
 8.22～23 第28回県体 (釜石市営プール) ⑧岩高
 9.19～22 第31回国体 (佐賀)
 吉田 出場

我部の今年の特徴は昨年とは比べものにならないほど部員とOBのみなさんとのつながりが深まったことです。八月には「岩手中高校水泳部50周年兼同校プール20周年記念式典」が行なわれ、多数の先輩が集まってきてくださった。そしてOBのみなさんと部員との交流を深める「記録会」も催された。その時我々現役組はこれからも水泳部の再建をと固く誓ったのでした。

我々の泳いでいるプールについて少しふれたい。昭和29年5月着工以来30年10月15日迄、1年5ヶ月の日時と当時総工費400万円で完成した。同プールは、長さ25米、巾15米の7コースで深さ2米～1米30であり、県内では日本水連公認二番目のものです。そのプールで今我々は泳いでいるのだから光栄というほかない。

- S52.** 1. 9 第27回冬季東北大会 (市屋内プール)
 7.9～10 第29回高体連 (花泉町民プール) ⑭岩高
 200 バタ ① 吉田 2'38"6 大会新
 7.29～30 第25回東北大会 (本荘市)
 200 バタ ③ 吉田 2'35"5
 7.31～8.1 県中体連 (岩大プール)
 8.4～5 第29回県体 (釜石市営プール) ③岩高
 9.2～5 第32回国体 (青森市)
 吉田 出場

- S53.** 1. 8 第28回冬季東北大会 (市屋内プール)
 6.21～22 日本泳法講習会 (市屋内プール)
 7.9～10 第30回高体連 (雫石町民プール)
 8.19～20 第30回県体 (釜石市営プール)
 9.16～17 第16回県高校新人大会 (志戸平)
 200 背 ③ 大弓

- S54.** 6. 8 水泳指導者講習会 (県民会館) 講師 村井健祐(日大教授) O.B
7.7~8 第31回高体連 (江刺市民プール)
8.18~19 第31回県体 (釜石市営プール) ⑧岩高
200背 ③ 大弓
400メドレー ③ (大弓、前沢、小山田、長根)
9.9~10 第17回県高校新人大会 (市屋内プール)

- S55.** 1. 13 第30回冬季東北大会 (市屋内プール)
4. 15 瀬川政雄会長 県水連葬
栃内松四郎会長就任
7.5~6 第32回高体連 (花巻市民プール)
7. 14 第32回市民大会 (市屋内プール)
7.26~27 第27回県中体連 (江刺市民プール)
8.9~10 第32回県体 (釜石市営プール)
200平 ③ 丸山
9.13~14 第18回県高校新人大会 (衣川プール)
200平 ③ 丸山

- S56.** 1. 11 第31回冬季東北大会 (市屋内プール)
7.10~11 第33回高体連 (釜石市営プール)
7.18~19 県選手権大会 (江刺市民プール)
7.25~26 第28回県中体連 (勤労青少年プール)
7.28~30 第36回東北大会 (釜石市営プール)
8.7~8 第34回県体 (釜石市営プール)
9.19~20 第19回県高校新人大会 (市屋内プール)

我々水泳部は、新入部員が一名しか入らず部員数の少ない年となりました。

練習の量も、いつもの年より少なく、高体連で好成績を出すことができず、東北大会出場者が一名という結果になってしまいました。夏の合宿でも思うような練習が出来ず終わってしまいました。しかし、県民大会では800Mリレーで三位入賞を果たしました。

来年は、部員をふやし、練習を充実させて個人個人の力を十分に発揮して、今年以上の成績を獲得したいものです。

反省ばかりの一年だったような気がしますが、これからは我々水泳部としては、全員の体力と気力の充実を目標として努力して行きたいと思います。

- S57.** 1. 10 第32回冬季東北大会 (市屋内プール)
200平 ② 丸山
7.9~10 第34回高体連 (金田一プール)
7.17~18 県選手権大会 (釜石市営プール)
200平 ③ 丸山 100平 ② 丸山
7.25~26 県中体連 (金田一プール)
7.28~30 第37回東北大会 (青森市)
8.7~8 第34回県体 (釜石市営プール)
800リレー ③ 岩高
9.12~15 第37回国体 (松江市)
9.18~19 第20回県高校新人大会 (市屋内プール)

- S58. 7. 9 第35回高体連 (金田一プール)
 7.16~17 県選手権大会 (釜石市営プール)
 7.24~25 第30回県中体連 (江刺市民プール)
 1500自 ⑤ 齊藤
 7.27~29 第38回東北大会 (秋田市)
 800リレー出場 (齊藤、吉田、関口、米沢)
 8.6~7 第35回県体 (釜石市営プール)
 8.28 盛岡市民記録会 (勤労青少年プール)
 100背 ① 齊藤雄一
 9.4 第19回県中学学年別 (石鳥谷プール)
 400自 ② 齊藤博樹
 9.11~14 第38回国体 (前橋市)
 200平 ③ 玉川(花巻東) 2'30"63
 9.17~18 第21回県高校新人大会 (衣川プール)

今年の水泳部は、春のトレーニングからこれまでにない順調なスタートとなり、部員のタイムもそれぞれのばすことが出来た。

しかし、年間を通しての成績としては、あまり良い結果を得られず、残念に思う。

良かった点といえば、リレーの出場権を得たために全員が東北大会にいったということです。ただし、個人種目での出場者は一名にとどまったのは淋しい。

新入部員は、春先に一名、そして秋に二名の一年生が入部したが、まだまだ部員不足なので頭をかかえています。

こうしてみると毎年同じ反省をしているようで、進歩が見られないが、来年こそはという期待を胸に、現在多季の陸上トレーニングに力を入れています。

最後に、桜泳会の皆様方の御指導に深く感謝を申し上げます。

- S59. 1. 8 第34回多季東北大会 (市屋内プール)
 6. 24 盛岡市民大会 (市屋内プール) 100平 ③ 大森
 7.7~8 第36回高体連 (北上市民プール) ⑩岩高
 7.21~22 県選手権大会 (釜石市営プール) 100背 ⑥ 村上
 7.27~29 第39回東北大会 (山形市)
 7.28~29 第31回県中体連 (金田一プール) 400自 ③ 齊藤 5'33"0
 8.11~12 第36回県体 (水沢市民プール)
 400自 ② 村上 200背 ③ 村上 200平 ① 大森
 8.27~28 市内中学校大会 (勤労者青少年プール)
 400自 ① 齊藤 100背 ③ 嶋屋
 400メドレー ③ 岩中(嶋屋、村上、太田、齊藤)
 9.4 第19回県中学学年別 (石鳥谷プール) 400自 ② 齊藤
 9.8~11 第39回国体
 9.15~16 第22回県高校新人大会 (湯田町) ⑩岩高

- S60. 1. 13 第35回冬季東北大会 (市屋内プール)
 6. 30 盛岡市民大会 (市屋内プール)
 7.6~7 第37回高体連 (勤労青少年プール) ⑦岩高
 1500自 ③ 齊藤 200背 ③ 村上 100背 ③ 村上
 7.20~21 県選手権大会 (つなぎ)
 200背 ② 村上 400個メ ③ 嶋屋
 7.27~28 第32回県中体連 (金田一プール)
 8.3~4 第37回県体 (釜石市民プール) ⑦岩高
 400自 ② 齊藤 400個メ ③ 嶋屋 200背 ③ 村上

- 9.21～22 第23回県高校新人大会 (湯田町) ④岩高
200平 ③ 大森
- S61. 1. 12 第36回冬季東北大会 (市屋内プール)
市民大会 (市屋内プール) ①岩高
100背 ① 村上 200個メ ① 望月
400メドレー ① 岩高(村上、猪ノ口、嶋屋、村上)
- 7.12～13 第38回高体連 (釜石市営プール) ③岩高 49点
200平 ③ 朝岡 100平 ③ 朝岡 200背 ② 村上 100背 ③ 村上
400個メ ② 嶋屋 100バタ ③ 猪ノ口 200個メ ② 望月
- 7.19～20 県選手権大会 (勤労青少年プール)
200バタ ③ 猪ノ口 200平 ③ 朝岡 100平 ③ 望月
400メドレー ③ 岩高
- 7.27～29 第41回東北大会 (福島市)
- 8.2～3 第38回県体 (金田一プール) ②岩高 56点
400自 ② 望月 200平 ② 朝岡 200背 ① 高畑
200バタ ② 猪ノ口 400個メ ③ 猪ノ口
400メドレー ① 岩高(高畑、望月、猪ノ口、朝岡)
400リレー ① 岩高(猪ノ口、朝岡、高畑、望月)
- 9.20～21 第24回県高校新人大会 (湯田町) ②岩高 39点
- S62. 1. 11 第37回冬季東北大会 (市屋内プール)
100自 ③ 猪ノ口 200平 ② 望月 200バタ ③ 猪ノ口
200背 ③ 高畑
- 7.4～5 第39回高体連 (雫石町民プール) ②岩高 65点
100平、200平 ① 望月
400メドレー ① 岩高(高畑、望月、猪ノ口、朝岡) 4'36"15
400リレー ① 岩高(嶋屋、朝岡、高畑、猪ノ口) 4'08"76
- 7.11～12 県選手権大会 (金田一プール)
200平 ① 望月 2'45"70
400メドレー ① 岩高(高畑、望月、猪ノ口、朝岡)
400リレー ① 岩高(朝岡、猪ノ口、高畑、嶋屋)
- 7.25～27 第42回東北大会 (水沢市民プール)
- 8.8～9 第39回県体 (釜石市営プール)
200平 ① 望月 200バタ ③ 猪ノ口
400メドレー ① 岩高(高畑、望月、猪ノ口、嶋屋) 4'34"83
100自 ② 猪ノ口
9. 第42回国体 ()
望月 出場
- 9.12～13 第25回県高校新人大会 (湯田町) ②岩高 39点
400自 ① 望月 4'42"81
400メドレー ① 岩高(高畑、望月、猪ノ口、朝岡) 4'27"28
200平 ③ 朝岡 2'41"24
200バタ ③ 猪ノ口 2'26"95

今シーズンは、昨年以上に練習を行ない、昨年を上回る成績をおさめることができた。今年の練習は、プールの改築により、学校ではシーズンに入ってからでもプールが使用できず、陸トレを行ない、選手全員がスイミングスクールに所属して泳ぎこみをするという方法となった。そのため、長距離を泳ぐ時の泳ぎこみ不足が非常に目立った。しかし東北大会には、6名が出場、そして国体には望月が出場するなど、とても充実した年となった。

そして今シーズンの中で最も大きな意味をもつことはリレー、メドレーリレーで念願の1位をとることができたことである。

最後に、後輩諸君には来年こそ優勝できるようにがんばってほしい。(嶋屋 記)

- S63. 1. 10 第38回冬季東北大会 (市屋内プール)
100自 ③ 朝岡 200平 ③ 望月
7.9~10 第40回高体連 (一関市民プール) ② 岩高 51点
200平 ① 望月 1500自 ③ 金沢 100背 ② 高畑
100バタ ② 猪ノ口
7.16~17 県選手権大会 (勤労青少年プール)
200平 ① 望月 2'40"91 100平 ① 望月 1'15"10
7.26~28 第43回東北大会 (青森市)
8.6~7 第40回県体 (釜石市営プール) ②岩高 51点
200平 ① 望月 2'39"80 200バタ ③ 猪ノ口 2'35"55
400自 ③ 金沢 5'13"65
9.4~7 第40回国体 (京都宇治市)
望月 出場
9.17~18 第26回県高校新人大会 (湯田町)

プールができた。勿論プールは去年からあったのだが、付属の部屋やシャワー室やトイレが完成して、やっと一人前のプールになった。いろいろな学校のプールに行ったことがあるけどこれだけの設備のあるプールは今まで見たことがない。これで室内プールだったら完璧なんだけど、それは贅沢というものだと思う。とにかくプールができて、プールのある部活ができるようになった。

春、新しくなった制服と共に新入部員がやって来た。水泳経験者、そうでない者合わせて7名が入部して、総勢15名でスタートした。

六月、梅雨の晴れ間の日射しは強い。その中で毎日3千メートルから4千メートル、日曜日には1万メートルも練習し、みんな「黒ん坊」になった。そしていよいよ大会のシーズンになった。高総体二位、東北大会へ5名出場、県民体二位、と順位の変動はなかった。しかしその中で光るのは望月の二年連続の国体出場だった。

望月は最後のミーティングでみんなにこんな話をした。「今年は誰にも負けなくらい練習した。レースの前、その事を考えると絶対に負けるはずがない。勝てると自分を信じることができた。」多分みんな覚えていると思う。さすがだと思った。でもスポーツに限らずこうでなければならない。(朝岡 記)

- H1. 1. 7 昭和天皇 崩御
7.1~2 第14回高体連 (水沢市民プール)
7.15~16 県選手権大会 (金田一プール)
7.22~23 第36回県中体連 (勤労青少年プール)
8.5~6 第41回県体 (花巻市民プール)
400自 ③ 金沢 400メドレー ③ 岩高
9.16~17 第27回県高校新人大会 (湯田町)

今年は、残念ながら私が3年間在籍していた中でも最も悪い成績だった。

春、少し大きめの制服を着た新入部員がやって来た。水泳経験者、そうでない者合わせて5名が入部して、総勢19名でスタートした。

5月、初夏にしては気温が高く、日射しは強い。その中で毎日3千メートルから4千メートル、日曜日には7、8千メートルも練習した。

その時、事故は突然起きた。部を率いるはずの自分が、脊髄振盪による神経麻痺になり、絶対安静の状態、2ヶ月の入院生活に入ったのを境に、中学生が2人、高校1年が1人、2年が2人退部し、まとめる者がいない水泳部は、どんどん意気を失っていった。

自分は部長として1年間やって来たわけだが、自分の責任感の無さ、行動力の無さを恥ずかしく思っている。

1年生の諸君には夢を持って入って来たはずのクラブだったと思うが、この様な結果になってしまって申し訳

なく思っている。

そして2年生の諸君には、今までの事を二度とくり返さないようにこの事を克服してくれることを信じている。

(篠村 記)

- H2. 7.7～8 第42回高体連 (花巻市民プール)
400メドレー ⑥ 岩高 100バタ ⑥ 高橋 100平 ③ 若沢
7.14～15 県選手権大会 (勤労青少年プール)
7.21～22 第37回県中体連 (釜石市営プール)
7.27～29 第45回東北大会 (米沢市)
8.5～6 第42回県体 (金田一プール)
200平 ② 若沢
9.9～12 第45回国体 (北九州市)
9.22～23 第28回県高校新人大会 (湯田町)
100平 ③ 若沢 1'15"12 100平 ② 中本 1'14"56

- H3. 7.6～7 第43回高体連 (一関市民プール)
200平 ② 若沢 100平 ② 中本、③ 若沢
7.13～14 県選手権大会 (金田一プール)
100平 ③ 若沢
7.20～21 第38回県中体連 (勤労青少年プール)
7.26～28 第46回東北大会 (石巻市)
8.3～4 第43回県体 (花巻市民プール)
9.8～11 第46回国体 (石川県松任市)
9.14～15 第29回県高校新人大会 (湯田町) ⑦岩高
200平 ② 若沢 2'40"70 200背 ③ 齊藤 2'39"57
100平 ① 若沢 1'11"59

それではここで3年からの下級生への励ましの言葉を送ります。

(くじけずに頑張ってください。 ・ふ じ)

(体力をつけ真面目に練習せえ ・し も)

(冬場の独力が夏の力となる。 ・GON)

(くれぐれもケガに気をつけろ ・カニケン)

(継続は力なり。独力と根性だ。 ・凸)

(只今、自分を鍛えろ。 ・マッソー)

最後に、今までご指導して下さった、顧問の先生やOBの方々、本当にお世話になりました、これからは、OBとして岩高水泳部に貢献していきたいと思います。

- H4. 6. 盛岡市民大会 200個メ ② 庭
7.3～4 第44回高体連 (花巻市民プール)
100平 ② 若沢
7.18～19 県選手権大会 (勤労青少年プール)
7.25～26 第39回県中体連 (金田一プール)
8.8～9 第44回県体 (勤労青少年プール)
400リレー ③ 岩高 (中沢、長岡、庭、村谷)
400メドレー ② 岩高 (中沢、長岡、庭、村谷)
400個メ ③ 庭
9.4～7 第47回国体 (米沢市)
9.12～13 第30回県高校新人大会 (湯田町)
400個メ ② 庭 5'12"05

- H5. 7.3～4 第45回高体連 (北上市民プール)
400自、1500自 ③ 久保
- 7.17～18 県選手権大会 (水沢市民プール)
200平 ③ 川村 2'35"45
- 7.24～26 第41回東北大会 (花巻市民プール)
200平 ③ 川村 2'34"50
- 8.7～8 第45回県体 (金田一プール)
200平 ① 川村 2'34"67 400自 ③ 久保 4'52"89
- 9.5～8 第48回国体 (高松市)
川村 出場
- 9.18～19 第31回県高校新人大会 (湯田町) ⑤岩高 23点
400自 ② 庭 4'33"68 200平 ③ 川村 2'30"79
200自 ② 庭 2'08"20
庭、川村は東北新人大会出場
12. 11 県営屋内温水プール完成 (雫石町)

- H6. 6 市民大会 (市屋内プール)
- 7.1～2 第46回高体連 (県営屋内プール) ⑤岩高
400自 ② 庭 4'28"65 1800自 ① 庭 18'00"61
1800自 ③ 久保 18'58"39 100平 ③ 川村 1'10"60
200平 ③ 川村
- 7.16～17 県選手権大会 (県営屋内プール)
200平 ③ 川村 2'29"57 県新
- 7.22～24 第42回東北大会 (青森市)
200平、100平 ④ 川村
- 8.6～7 第46回県体 (県営屋内プール) ⑥岩高
400自 ② 庭 4'27"60 200平 ① 川村 2'30"26 大会新
800リレー ③ 岩高 (久保、川村、庭、田上) 200背 ③ 小田島 2'33"74
400メドレー ③ 岩高 (田上、川村、庭、久保) 4'32"59
- 9.3～6 第49回国体 (名古屋市)
200平 川村 2'29"01 県新
100自 ⑥ 小形 (不来方高) 55"14 県新
- 9.17～18 第32回県高校新人大会 (湯田町)
200個メ ② 久保 2'20"67 400個メ ② 久保

- H7. 6.29～30 第47回高体連 (県営屋内プール) ⑥岩高
200個メ ③ 久保 2'24"78 400個メ ① 久保
- 7.15～16 県選手権大会 (県営屋内プール)
- 7.22～24 第43回東北大会 (秋田市)
- 8.5～6 第47回県体 (県営屋内プール) ⑤岩高
400個メ ① 久保 5'03"79
8. 13 岩手県水球選手権大会 (勤労青少年プール)
- 9.9～12 第50回国体 (福島県郡山市)
- 9.23～24 第33回県高校新人大会 (湯田町)

今年の水泳部は、いつになく、にぎやかな雰囲気の中でスタートした。多くの新入部員が入部してくれたからである。これも過去の先輩や、三年生の先輩方の実力のたまものだろうと僕は思う。

シーズンに入ってすぐの市民体では、練習不足もあって、実力を出せないような傾向が見られた。しかし、高

総体では、三年生の多くが引退する、大きな意味を持つ大会であったため、部員全員が奮起し、久保先輩や二年の小田島、吉田、それに一年の平安が入賞した。入賞できなかった先輩方も、有終の美を飾ってくれた大会であったと僕は思う。

この夏は、記録的な暑さにもめぐまれ、絶好の環境が整えられ、十分な練習を行っていくことができたと思う。

夏休みに入り、県民体では、久保先輩が優勝するなど、先輩方の最後の泳ぎを見て、僕達が、この伝統ある水泳部を引きついでいかなければならないと、決意をあらたにした。

部が僕達に引きつがれてから、新部長の小田を中心に、部員全員が、三年生を超えようと躍起になって、一生懸命練習を積み重ねていった。引きつがれてから最初の大会となる県民体では、一年生の平安、赤沢、今松が目ざましい活躍を見せ、見事入賞を果たした。九月に入って行なわれた新人戦でも、二年の吉田、一年の平安が入賞するなど、水泳部の実力は衰えていないことをアピールした大会になったと思う。

こうして、今年のシーズンが終わったわけだが、今年は、一年生の活躍が目立ち、今後の活躍も期待できるいいシーズンだったと思う。もちろん課題がないわけではないが、来年改善していきたい。そして、三年生の先輩方を超えることができればよいと思う。三年生のみなさん、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

(神 雅也 記)